

10月のおもな行事予定  
かんせんじょうきょう 感染状況によって変更する場合があります。

日	曜日	行事
1	金	視力検査5, 6年
2	土	6年キャリア教育 (理容)
3	日	
4	月	視力検査3, 4年 委員会活動
5	火	視力検査1, 2年 5年ものづくり教室
6	水	
7	木	1年校外学習 (畜産センター・大凧会館) 6年キャリア教育 (介護福祉士など)
8	金	避難訓練
9	土	
10	日	
11	月	食育・ベルマークの日 校内人権デー クラブ活動
12	火	6年キャリア教育 (自衛隊・獣医師など)
13	水	代表委員会
14	木	縦割り読み聞かせ マツゾウくん来校 3年ふるさと学習 (盲導犬ユーザー)
15	金	4年やまのこ体験学習
16	土	年間計画では、学習参観 日でしたが、運動会を11 月6日に実施する関係で、 行わないことにしました。
17	日	
18	月	クラブ活動
19	火	
20	水	PTA運営委員会 19:00
21	木	縦割り読み聞かせ 芸術鑑賞
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	委員会活動
26	火	2年校外学習 (陶芸の森)
27	水	
28	木	縦割り読み聞かせ
29	金	3年校外学習 (消防署・県警本部)
30	土	
31	日	学校運営協議会理事会 (29日に変更)

夏休みの成長を感じながら…

教室や廊下に子どもたちが夏休みに取り組んだ作品の一部が掲示 (展示) されています。ずっと以前は、コンクール等の応募の締め切りが9月中旬以降だったので、すべての作品を教室に展示をしたり、発表会を行ったりしていたのですが、最近9月2日が締め切りというコンクールも多く、じっくりと鑑賞しあう前に出品してしまうことも少なくありません。

教育相談談話週間

六年生の作品



しかし、子どもたちの夏のがんばりは、作品や提出物に表れているだけでなく、一回りたくましくなった子どもたちの姿に表れています。コロナ禍で不安を抱えながらもがんばって登校し、みんなと感染対策をしながら一生懸命学習している姿に、励まされることも多いです。作品に込められた思いや2学期に向けての意気込みを感じながら、運動会や水戸まつりといった「トライの場」を子どもたちとともに作りあげていきたいです。

10月21日に予定しています「芸術鑑賞」は、当初、「PTA親子人権学習会」として企画していました。しかし、PTA役員会で、「保護者のかたにたくさん集まっていたのは避けるべき」との意見が出され、児童のみ (2回公演) の鑑賞会とさせていただきますことになりました。内容は、和太鼓の演奏ですので、密を避け、換気を行い実施します。



ふるさと水戸9月  
 「あい」のある学校・地域 つなぐ水戸っ子

安心? 心配? コロナ禍の学校生活

みんなが周りの人を大切にしようとするれば、過度の心配はいりません!

緊急事態宣言が延長されました。もうしばらく対策を強化した取組が必要です。現在、新規感染者は減少傾向ですが、まだまだ、気を緩めることはできません。11月に延期した運動会を成功させるためにも、いろいろとご協力いただくことばかりですが、どうぞよろしくお願いいたします。  
 (運動会の詳細については、2面に載せていますので、ご確認ください。)

9月に入り、今一度感染症対策を見直し引き締めているところですが、そんな中で感じるがあります。それは、自分にとって「学校が一番安心安全な場所」だということです。

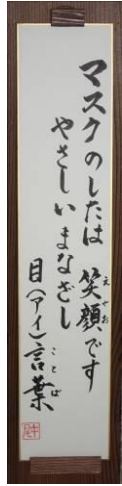
学校へ集まってくるのは、ご家庭でご家族も含めてしっかりと健康観察をしていただいた児童、そして、同様に家族も含めて健康観察をした職員のみです。教室は、児童の下校後、担任が消毒を行っています。廊下その他の共用部分は用務員が日中に消毒を行っています。日常生活は運動する場合などを除いて必ずマスクをしています。(あごマスクもきちんと指導しています。)音楽科のリコーダーや鍵盤ハーモニカなどの演奏や家庭科の調理実習、ミシン、理科の対面での実験など、感染が心配される学習活動を行っていません。給食の用意はエプロン、帽子 (三角巾) を身につけた当番の児童



とても静かな給食時間

と職員のみで行い、ほかの児童は座って待ちます。食事が始まると校内は静まりかえり、まったく声が聞こえません。これほど静かな食事風景は現在の学校以外にあるのだろうかと思うほどです。

ですから、私自身は、市内のどこへ行くよりも、さらに言えば、自宅にいるよりも、学校にいるほうが「感染」ということに関しては安全だと感じています。学校は、子どもたちにとって学びの場であるとともに、生活の場でもあります。私たち教職員は、「子どもの学びと生活の場」=「ふるさとづくりの場」を保障するために最善を尽くします。どうぞ、水戸小学校のふるさとづくりを支えていただきますようお願いします。



うんどうかい みと **運動会** 水戸まつりの実施について

PTA本部役員様、学校運営協議会理事長様と協議のうえ、決定しました。

うんどうかい **運動会**について

○実施日：**11月6日(土) AM(弁当はいりません)**

雨天順延(ただし、衆議院選挙が7日に実施された場合は、8日)

○振替休業日：11月8日(月)

○実施内容

- ・通常どおり登校し、運動会終了後、12時ごろ下校します。
- ・演技種目は、「徒走」「色別リレー」「団体演技」です。(昨年と同じ内容です)
- ・保護者の観覧は2名までとし、ご自分のお子様の演技のときのみ観覧いただきます。(感染状況によってさらに制限させていただく場合があります。)



○会場について

- ・涼しい時期ですので、児童テントを設営しません。
- ・昨年同様、保護者の観覧場所を指定させていただきます。
- ・校舎1階部分等を開放し、水戸まつりに向けて取り組んだ成果物の展示を行い、お子様の演技以外の時間に見ていただけるようにします。



実施日及び内容の決定についての思いや願い

- 子どもたちの取組をできる限り多くの保護者のかたに見ていただきたいので、休業日に設定しました。
- 10月に校外学習等の行事が予定されているので、重なりを避けるために11月実施としました。(下田小学校と同日開催とし、他団体の行事との重なりを最小限にしました。)
- 今年度は、色別応援をぜひとも実施したかったのですが、感染状況等を考慮して取りやめました。(練習場所の確保が難しいです。)

みと **水戸まつり**について

○実施日：**11月9日(火)～19日(金)を「水戸まつり週間」と**します。

○実施内容

当初は、児童の思いを大切に、学年ごとに展示またはステージ発表を選択することにしていましたが、今年度も感染防止のため、ステージ発表など1か所に集まったの集会活動は行いません。

- ① ふるさと学習での学びを展示し、展示物の見学を通して学びを広げます。
- ② 伝統のみこしづくりは、学年ごとに制作日を設け、最終的に6年生が完成させます。
- ③ 感染状況にもよりますが、6年生によるみこしの練り歩きを**18日午後**に行う予定をしています。

水戸まつりについては、詳細が決まりしだいお知らせしますが、**当初予定していた11月13日(土)という、休業日の実施はしません。**



リスペクト アザース ~相手を尊重すること~

先日、湖南省市の「豊かなつながり創造講座」を受講しました。そのなかで平成24年度全国中学生人権作文コンクールで法務大臣賞を受賞した「リスペクト アザース」と題した作文が紹介されました。「リスペクト アザース」とは、直訳すれば「ほかの人のことを尊敬(尊重)しよう」ということになります。作者は日本人の両親のもと、アメリカのサンディエゴで生まれ、10歳まで過ごした経験を作文に書いています。人間関係のトラブルがあったとき、保育園のころから先生たちに「Respect Others」という言葉を叩き込まれたそうです。それは、「いじめはダメです」「仲よくしなさい」というそのときの行動を注意するのではなく、その行動を起こしてしまった根本の考え方を問題にしているのだと言っています。

また、そういった考え方は、人種差別などの人権問題と向き合ってきたアメリカ社会が過ちを繰り返さないためにたどり着いた一つの答えなのだと言っています。

もう15年も前のことになりますが、私が研修で訪問したカナダでは、どの学校でも「リスペクト」という言葉を先生たちから聞かせてもらいました。学校のいたるところに「RESPECT」という掲示がされていました。ご存じのかたもおられると思いますが、カナダは「移民の国」とも呼ばれ、たくさんの民族が住んでおり、互いの文化を尊重することから「リスペクト」という精神が大切にされているのだと感じました。



カナダの学校の掲示物

水戸小学校に赴任してからも外国籍児童の保護者のかたとお話をしているときに、「先生、子どもたちにリスペクトすることを教えてください。」と言っていたことが何度もあります。水戸小学校の3つの「あい」の「思い合い」もリスペクトがなければ、同情やあわれみになるかもしれませんし、「鍛え合い」についても、単なる競争となってしまうかもしれません。**相手を尊重する気持ち**があつてこそその「学び合い」「思い合い」「鍛え合い」ではないでしょうか。



そう考えると、外国籍児童をはじめ、多様な文化をもった子どもたちが集まっている水戸小学校では「リスペクト アザース」はもう一つの校訓ではないかと感じています。作者である中学生は、最後にこのように書いています。

僕は日本でもっと、『リスペクトアザース』が浸透していけばいいと思う。日本は表面上差別のない社会なので、必要ないと思われるかもしれない。しかし、これこそが人権を考える上での基本だと思う。人権尊重の社会を作っていくのは、僕たちひとりひとりの考え方によるからだ。同じ人間は一人もいない。人と違っていることがまたその人の個性である。違う点だけでなく、うまくいったこと、できなくても努力していくことなどを尊重し合っていくことができれば、もっと素晴らしい社会になっていくと思う。

(この作文は、中学校の道徳の教科書にも掲載されており、インターネットで検索していただくと作文や動画などを見ることができます。)